

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	らっぽしよ伝統文化継承事業
事業主体 (連絡先)	らっぽしよ保存会 木曾郡木曾町日義458
事業区分	(3) 教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,475,628円 (うち支援金: 874,000円)

事業内容

日本遺産及び木曾町無形民俗文化財である「らっぽしよ」の伝統文化の保存・継承における後継者の育成並びに、地域住民の参画による魅力ある催事で、観光事業による地域人口の増加が期待できる。

①リヤカーの改造 (台車)

山車を載せ重量に耐えうるようタイヤ等を補強した。

②山車の作成

彫刻など古建築社風木彫方式(巾2.2m×奥行3.4m×高さ1.8m)に朱を基本に明るい色調とした。

③山車保存格納庫建築

台車及び山車が格納できる木造切妻トタン屋根(巾2.7m×奥行3.9m×高さ3.2m)を建築。



【完成した山車と格納庫の様子】

【目標・ねらい】

- ①伝統文化の継承
- ②人材・後継者の育成
- ③地域住民の参画
- ④地域を越えた楽しい催事

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①山車等作成による新たな催事は、日本遺産、無形民俗文化財の歴史文化の伝承・継承で、新たな義仲の里が形成に期待ができる。

②少子高齢社会における後継者の育成及び人材の確保で、文化の継承の端緒となり地域住民の参画を促し、義仲の里づくり、故郷の再生が進展する。

③「らっぽしよ」は、1389年(鎌倉時代)ころから、31年度で630周年の好機な記念催事として地域住民の参画のもと、お披露目運行し、地域を越えた楽しい催事ができる。

※自己評価【 A 】

【理由】

彫刻を施し、朱色を基本とした古建築社風木彫方式は、住民の参画事業により、地域を元気にする貴重な事業となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「らっぽしよ」事業の継続は、子供の火祭りであるが、少子高齢時代の伝承の厳しさが増す中で、山車の作成により新たな催事が生まれ、子供の参画及び地域住民の参画を促す好機となったことから、山車の運行による伝統文化の育成・伝承の楽しさ等地域を越えた催事として伝承できるよう大切に育むこととしたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある